



結城農業かわら版



第136号
令和3年9月22日

発行元：結城地域農業改良普及センター
TEL：0296-48-0184
FAX：0296-48-2682



関東ブロックプロジェクト実績発表会で 結城市の船橋さんが優秀賞を受賞！！



9月3日（金）、茨城県農業総合センターで令和3年度関東ブロック農村青少年（4H）クラブプロジェクト実績発表会がオンラインで開催されました。発表会は意見発表の部、プロジェクト発表の部（土地利用型作物部門、園芸・特産作物部門、畜産経営部門、地域活動部門）に分かれ、5県（茨城、栃木、千葉、埼玉、長野）の15名が参加して行われました。茨城県からは、意見発表の部に結城市の船橋英統さん、地域活動部門に茨城町の斉藤卓也さんが代表として参加しました。

船橋さんは、就農1年目に感じた農業の労働力不足に対する解決方法について、自身が取り組んだ内容を発表しました。

斉藤さんは、4Hクラブの仲間と始めた廃校を利用したマルシェの取り組み内容について発表しました。

各県代表の発表はいずれも素晴らしいものでしたが、その中でも茨城県の2名の発表を評価していただき、意見発表の部および地域活動部門において、それぞれ優秀賞を受賞しました。関東ブロックの代表として来年3月の全国大会で2人は発表する予定です。

普及センターでは、今後も全国大会に向けて支援していきます。



発表者の船橋さん



受賞おめでとうございます！！



八千代地区梨部会で、新品種「恵水」の今年度の出荷が始まりました

ナシ新品種「恵水」は、茨城県で育成された新品種で、果実が大きく糖度が高いことが特徴です。八千代地区梨部会では、出荷者が5名程度でまだ少ないことから、同じJA常総ひかりの下妻地区のナシ生産者と共同で、選果と出荷を行っています。

8月27日に、下妻第一選果場で「恵水」の初選果が行われました。今年は果実の肥大が順調で糖度も高く、良い出来となっており、国内市場や香港等の海外にも出荷される予定です。

普及センターでも、「恵水」の出荷量増加や安定生産に向けて、引き続き支援していきます。



選果の様子

結城4Hクラブ冬期プロジェクト

～ハクサイ根こぶ病の防除試験～



9月2日(木)、結城4Hクラブが冬期プロジェクトとして試験をするハクサイを定植しました。天候が悪い中、クラブ員が協力して約25aの定植を終えることができました。

結城市・八千代町などハクサイ産地では、根こぶ病の発生が問題となっています。そこで毎年、結城4Hクラブでは、共同圃場にて、根こぶ病防除の試験に取り組んできました。昨年度は、おとり作物である「コブ減り大根」と薬剤防除である「オラクル粉剤」の2回処理を組み合わせた防除で、根こぶ病の発生を抑えることに成功しました。

今年度は、コストの削減を目標として、3つの処理区を設けて試験を実施しています。

※試験区の概要

【処理区】

- ① コブ減り大根のみ
- ② コブ減り大根+オラクル粉剤 1回土壌処理
- ③ ②+苗へのオラクル顆粒水和剤の灌注処理

今後は、11月中旬の収穫・調査まで、クラブ員が交代で栽培管理をしていきます。

結城4Hクラブでは今後も、地域活動や地域農業の課題解決に向けた試験の実施等に積極的に取り組んでいきます。活動に興味のある若手生産者の方は、普及センターまでご連絡ください。



コブ減り大根栽培の様子
(7/29時点)
播種日：7/14

収穫後はイネ縞葉枯病の対策を行いましょ!!

○管内の状況

県病害虫防除部の5月中下旬の調査結果では、管内3市町のヒメトビウンカ(以下、ウンカ)の保毒虫率は約6~9%と、要防除水準である5%を超えている状況です。

また、発生量は過去5年で最も多く、引き続き防除対策の徹底を行う必要があります。

○収穫後の発生生態

ウンカは収穫後、主にひこばえ(再生稲)で増殖し、霜が降りて株が枯れる11月頃に、水田周辺雑草へと移動します。さらに、発病したひこばえを吸汁したウンカが新たに保毒する可能性が高まります。本病はウンカが媒介することにより発病するので、種子伝染はありません。



ヒメトビウンカ

○収穫後の対策

- ① 増殖源となるひこばえの早期耕うんを行う。
- ② 越冬場所となる水田周辺雑草の防除を、水稻を作付けしていない冬の期間も行う。

○次期作の対策

- ① 抵抗性品種(ふくまるSL、一番星、にじのきらめき、ほしじるし等)を導入する。
- ② 長期間効果が持続する育苗箱剤を施用する。
- ③ 被害が大きい場合は、6月中下旬頃の本田防除も併せて行う。



編集後記

結城に赴任したのが昨日のこのようですが、もう稲刈りの時期になったのかと思うと、年々月日が経つのが早く感じます。(稲毛田)

